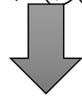


プログラム名称：データサイエンス人材育成プログラム

プログラム概要：Social Goodを牽引する，多様性のあるデータサイエンス(DS)人材育成

応用基礎レベルの位置づけ

自らの専門分野への数理・データサイエンス・AIの応用基礎力を習得
→ 専門分野 x データサイエンス (以下, DS) による価値創造



DS学部が育成する数理・データサイエンス・AIの応用基礎力

→ DS x DEI(Diversity, Equity and Inclusion)による価値創造

DSがSocial Goodを牽引し，多様な領域において価値創造するためにDS人材が持つべき視座・技能を養成することを目的とする。

- ・「**応用基礎**」と「**エキスパート**」のブリッジとなる多様な人材を育成
- ・文理，性別といったvarietyではなく，多様な視座としてのdiversityをデータ思考として涵養する
- ・多様な問題に対して，実践的知識と達成能力をもって価値創造する人材を育成する

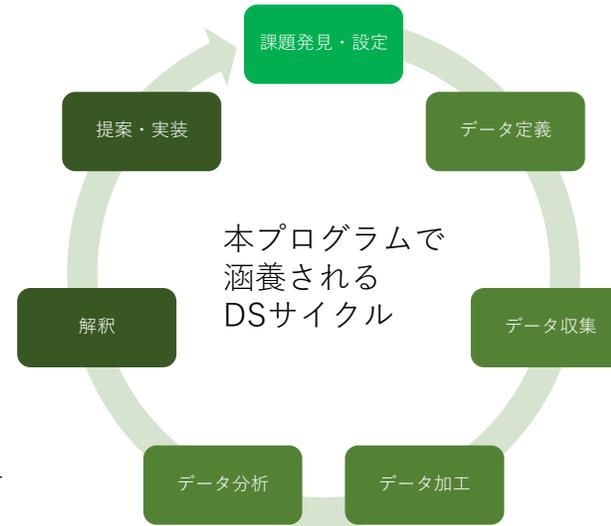
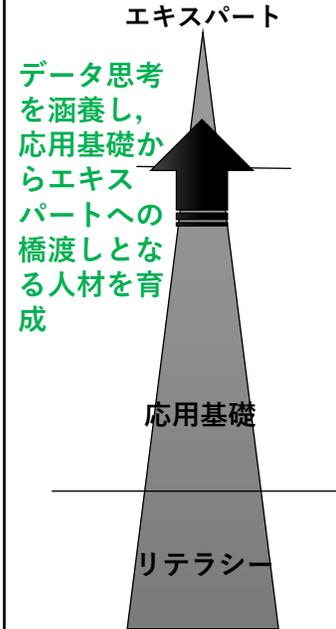
DSに必要とされる実用的な知識と問題解決能力を育成する学習の柱

- ・データサイエンスを学ぶ意義と多様な視座の涵養
- ・学生の習熟度や専門性
- ・キャリアデザインへの連携

学生主体の「自分ごととしてのDS」を支援する体制

学生がDSを「自分ごと」として捉え，問題解決にあたるために必要な支援体制を構築する。

- ・DS学部専任教員による学術・研究指導
- ・地域や産業界，海外大学←AI・DSの社会展開やその影響など，従来型講義からは得られない最新の知識と社会課題の問いかけ
- ・LMSによる学修履歴の可視化や4年間通じたキャリア支援←DSのどの分野を重点的に学び，社会において活躍する領域をどのように定めるか



DS人材が辿るDSサイクル全体を見すえた教育

DS学部との包括連携協定

サントリーMONOZUKURIエキスパート株式会社/株式会社マイナビ/株式会社インテージホールディングス/横浜市/全日空商事株式会社/株式会社帝国データバンク/株式会社マクロミル/横浜市・日本電信電話株式会社/日産自動車株式会社/株式会社ブロードリーフ/エーザイ株式会社/Vpon JAPAN株式会社/日本電気株式会社/イオン株式会社/みなとみらい二十一熱供給株式会社/鎌倉市/株式会社浜銀総合研究所/株式会社primeNumber/株式会社データビークル (令和4年4月末日現在，協定締結日順)

データから，未来をフォーサイトし，現実との比較（バックキャスト）により課題を発見、定式化する
→ **Social Good** に対する意識，倫理観の涵養

抽出された課題との関係において更に必要とされるデータを定義・収集・加工・分析する
→ **さまざまなツールを適切に使う「目利き」能力の涵養**

分析結果を踏まえ，新たな価値を創出し，社会実装（につながる提案を）する
→ **Social Good** に対する意識，倫理観の涵養

1年 DSセミナー
DS入門

2年 寄附講座

3年 寄附講座
PBL実習
専門領域演習II

4年 卒業研究

DS for Social Good
関連講義